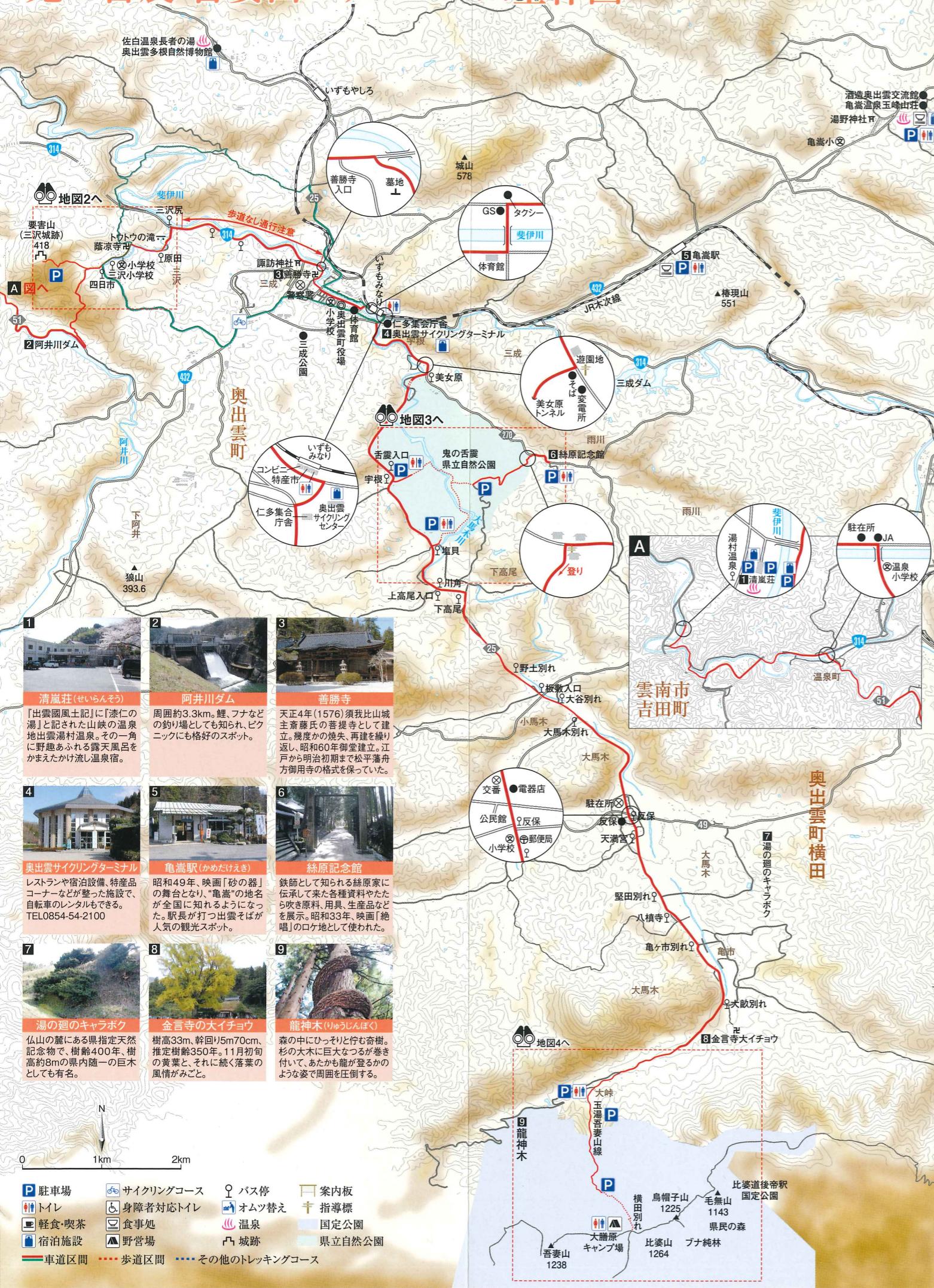


鬼の舌震・吾妻山モデルコース全体図

地図1



地図3



鬼の舌震(鬼舌振)

2年に国指定の名勝及び天然記念物となり、昭和39年には県立自然公園に指定された景勝地。巨石の間を流れる溪流は、早瀬や淵が連続し、両岸には特異な形の岩が存在する。

の舌震という呼称の由来は古く、「出雲國風土記」に、伊河の里に住む玉日女命という美しい女神を恋慕した大海の和仁(サメ)が、夜な夜な斐伊川を通い來たが、これに兼った姫が巨岩で川をせき止め、ワニを拒んだところ、ワニ一層姫を恋慕った」とあり、この「ワニのしたふ(慕う)」がったものと言われている。この地の断崖絶壁に驚いたワニが「舌を震わせた」からという異説もある。

